
NEWS RELEASE (2021年9月7日) 取材依頼

タイトル 人々は東京五輪を予想以上に楽しんでいました？

サブタイトル 開催前の賛否に着目した感情の予測と実際のずれに関する調査結果

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。このたび、下記の東京五輪をめぐる人々の感情に関する調査について、研究成果の発表をご案内いたしますので、取材方をお願いいたします。

【研究概要】

法文学部人文学科心理学コースの榊原良太准教授と大藺博記准教授は、東京五輪開幕前の7月1日、7月15日、開催中の8月1日に継続的にアンケートを実施し、東京五輪に対する人々の感情がどのように変化していくか、それが開幕前の東京五輪に対する賛否によってどのように異なるかを検証しました。

全国の2483名分のデータを分析した結果、人々は開幕前に予想していた以上に東京五輪を楽しんでいたこと、またその「心変わり」の傾向は、開幕前に東京五輪に反対していた人ほど大きいことなどが示されました。

今回の調査は、人は自身の将来の感情を必ずしも正確には予測できないという「感情予測」という心理的現象に着目したものです。自国開催の五輪でありながら、国内の賛否が大きく分かれているという特殊な状況下でのデータは、「感情予測」研究に大きな示唆をもたらすだけでなく、国内での大規模イベントをめぐる社会全体の感情の動きの理解にもつながると考えられます。

調査結果は、速報性を重視し、プレプリント論文としてPsyArxivにて公開されています。

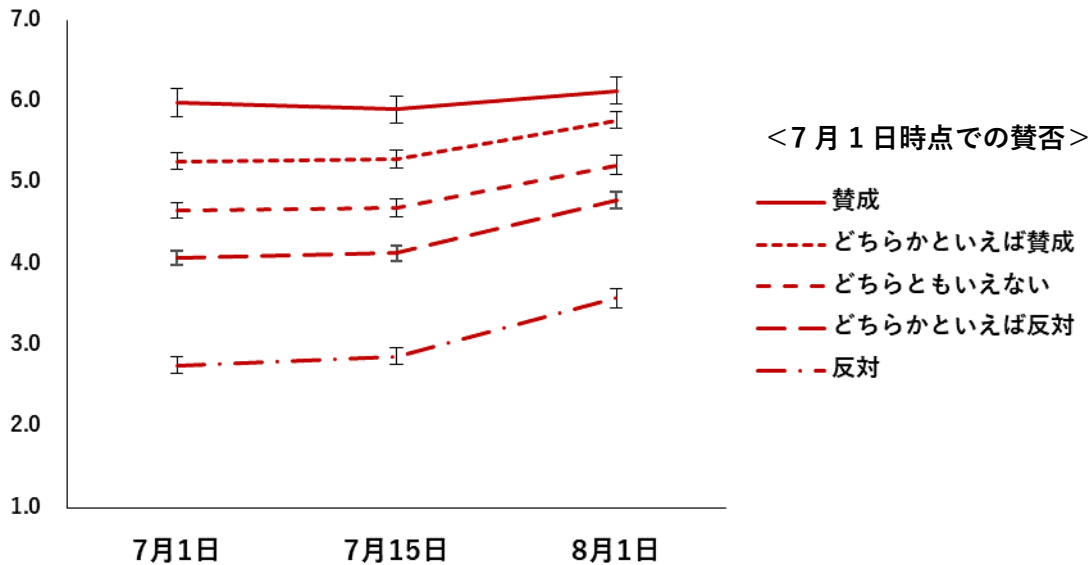
【論文情報】

論文タイトル: 東京五輪は思ったよりも楽しかった? —開催前の賛否に着目した感情の予測と実際のずれの検討—

著者: 榊原良太・大藺博記 (鹿児島大学法文学部)

論文 URL: <https://psyarxiv.com/dn54t/>

(東京五輪の開催期間は7月23日から8月8日)



東京五輪に対するポジティブ感情（開幕前の予測と開催中の実際の経験）

※エラーバーは95%信頼区間

東京五輪開幕前の2021年7月1日と7月15日、開催中の8月1日の3時点において、クラウドソーシングサービスを利用したオンライン調査を実施しました。最終的な分析には、3時点全てに回答をした2483名（平均年齢47.69歳、標準偏差11.08、女性965名、男性1488名、その他30名）のデータを使用しました。

回答者は、以下の項目が自身にどの程度あてはまるかを回答し、その平均点を「東京五輪に対するポジティブ感情」の得点としました(1. 全くあてはまらない～7. とてもあてはまる)。

(開幕前 7/1、7/15)

- ・東京五輪を楽しんでいるだろう
- ・日本代表選手やチームがメダルを獲得したときには喜びを感じているだろう
- ・選手たちのパフォーマンスに感動しているだろう

(開催中 8/1)

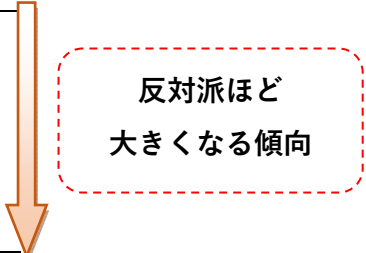
- ・東京五輪を楽しんでいる
- ・日本代表選手やチームがメダルを獲得したときには喜びを感じている
- ・選手たちのパフォーマンスに感動している

また、7月1日の時点で、東京五輪に対する賛否を5段階(反対、どちらかといえば反対、どちらともいえない、どちらかといえば賛成、賛成)でたずね、それによって開幕前の感情の予測と実際のずれがどのように異なるかを検証しました。

まず、全体として、開幕前(7/1、7/15)の予測に比べると、開催中(8/1)の実際のポジティブ感情の経験が高かったことが示されました。この結果は、「人々は開幕前に自身が予想していた以上に、東京五輪を楽しんでいた」ことを示唆しています。

また、この「心変わり」の傾向が、開幕前の7/1時点の賛否によってどのように異なるかを分析しました。その結果、下の表に示す通り、開幕前に東京五輪に反対していた人ほど、開催中の実際のポジティブ感情が、開幕前(7/1、7/15)の予想よりも大きくなる傾向にあることが示されました。この結果は、「開幕前に東京五輪に反対していた人ほど、開幕前に自身が予想していた以上に、東京五輪を楽しんでいた」可能性を示しています。

	7/1と8/1の差	7/15と8/1の差
賛成	+ 0.151	+ 0.231
どちらかといえば賛成	+ 0.508	+ 0.480
どちらともいえない	+ 0.559	+ 0.526
どちらかといえば反対	+ 0.718	+ 0.653
反対	+ 0.822	+ 0.714



なお、今回の調査では、「新型コロナウイルス感染拡大に対するネガティブ感情」についても、同様に3時点のデータを取っています。ただ、このネガティブ感情に関しては、ポジティブ感情ほど、開幕前の予測と開催中の実際の経験に差が見られず、また賛否による顕著な傾向の違いも確認されませんでした。この結果は、新型コロナウイルスの国内の新規陽性者数、重症者数が、開幕前から開催中にかけて増加していったことに起因すると考えられます。

今回は3時点目までの結果の報告となりますが、本調査は当初より4時点目までの実施を計画しており、既に東京五輪閉幕後の9/1に最後の調査を終えています。今後、4時点目のデータを含めた分析を通して、人々の東京五輪に対する感情が、開幕前、開催中、閉幕後にどのように変化していったのか、その傾向は東京五輪に対する賛否によってどのように異なるのかを検証していく予定です。

なお、取材(原則オンライン)を希望される方は下記までご連絡をお願いします。

【問い合わせ先】

■研究に関すること

国立大学法人 鹿児島大学

法文学部人文学科心理学コース

准教授 榊原 良太 (さかきばら りょうた)

TEL: 099-258-7519

E-mail: sakakibara@leh.kagoshima-u.ac.jp